

事業番号	06 02 03	事業改善シート (28年度実施事業分)			<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	地球温暖化適応策推進事業費				担当課	部局	環境部	
						課・局・室	環境エネルギー課	
						E-mail	<a href="mailto:kankyoene@pref.nagano.lg.jp">kankyoene@pref.nagano.lg.jp</a>	
総合5か年計画	プロジェクト	1-1-3 次世代産業創出プロジェクト			実施期間	H25 ~ H31		
	施策の総合的展開	1-1 信州をけん引するものづくり産業の振興 1 成長産業の創出						
人口定着・確かな暮らし実現総合戦略	信州創生の基本方針	3-3 活力と循環の信州経済の創出						
	施策展開	3-(1) 経済構造の転換 ア 県内産業の競争力強化 (イ) 新技術・新製品の開発促進						

## 1 事業の概要

目指す姿	温暖化による自然や社会への影響に適応する対策を進め被害を抑制することにより、安全・安心で持続可能な社会を構築する。 ・精度の高い気候変動予測と影響分析 ・気候変動に適応する技術開発の促進による被害の抑制		
現状 (予算編成時)	地球温暖化に伴う気候変動予測は、地域の気温や降水量などの気象データや影響データを収集して分析することが不可欠であるが、行政、企業、大学などが気象データ等を個別に保有しているため、精度の高い予測ができない。そのため、気象データ等を保有する機関や団体が参加する産・学・官連携のネットワークを構築して、一元化した気象データや影響データに基づく精度の高い気候変動予測と影響分析を行い、気候変動に適応する技術開発を促進して、地球温暖化による被害を抑えることが必要である。		

県が関与する理由	県関与の必要性あり 県民との協働による実施： 実施中	<b>【左記の説明、根拠法令等】</b> 地球温暖化対策の推進に関する法律、長野県地球温暖化対策条例、長野県地球温暖化防止県民計画
----------	-------------------------------	--

成果目標・事業内容	① 成果目標 (H28)				
	気候変動に適応する技術開発を促進するためのプラットフォームを形成				
	② 事業内容 (単位:千円)				
	項目	実施方法	H28事業実績	H28 (当初)	H28 (決算)
地球温暖化適応策推進事業	直接	<ul style="list-style-type: none"> <li>気候変動に適応する技術開発を進めるためのプラットフォームを形成し、気候変動の影響について情報共有</li> <li>気候変動の影響やプラットフォームの取組を情報発信するホームページを作成</li> <li>気候変動の影響をテーマとした県民向けのシンポジウム等を開催</li> <li>県内348地点の気温や降水量等の気象観測情報を収集</li> </ul>	9,974	8,462	9,583
合計			9,974	8,462	9,583

事業コスト	区分 (単位:千円)				成果目標の達成状況											
	予算額	前年度繰越	0	0	0	項目	H26末	H27末	H28			H29 目標				
		当初予算	29,115	9,974	9,583				目標	成果	達成状況					
		補正予算	-20,261	-1,512	0				技術開発が促進するプラットフォームの形成	未形成	未形成		形成	形成	達成	-
		合計(A)	8,854	8,462	9,583											
	Aの財源	一般財源	0	0	0											
		県債	0	0	0											
		国庫支出金	0	0	0											
		その他	8,854	8,462	9,583											
	決算額(B)	8,850	8,462													
概算人件費	職員数(人)	0.80	0.80	0.80												
	概算人件費(C)	6,621	6,331	6,331												
	概算事業費(B(A)+C)	15,471	14,793	15,914												

目標に対する成果の状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成28年10月に企業、大学、医療機関、団体、県等の39機関で「信州・気候変動適応プラットフォーム」を構築した</li> <li>平成29年3月までに、構成機関を49機関に増やした</li> <li>農業、防災分野において技術開発を促進するための部会等を計4回開催し、意見交換を実施した</li> </ul>
-------------	---

## 2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施 ・プラットフォームの構成機関を増やすとともに、分野別の部会において関係者との意見交換を実施し、技術開発を促進する
--------------------	---